

【宮城県立多賀城高等学校】

宮城県仙台市近くに位置する多賀城高等学校は1976年に開校しました。現在の生徒数は男子生徒401名、女子生徒434名の合計835名です。そして、12,000名を超える卒業生を世に送り出してきました。本校の教育過程は進学校としてのもので、80%の進学率を誇っています。生徒たちはクラブ活動にも楽しんで取り組んでおり、今年は登山クラブとテニスクラブが全国大会出場を成し遂げました。

5年前に起きた東日本大震災により多賀城市は多大なる被害を受けました。幸運にも本校は高台に位置していた為、洪水の被害には見舞われませんでした。が、多賀城市の約3割(662ヘクタール)が津波の被害に遭い、市内の大通りは水路と化しました。188人の尊い命が失われ、5千棟が倒壊しました。108名の生徒は学校への避難を余儀なくされ、中には家路につくことができず、歩道橋で一夜を過ごした生徒もいたほどです。この経験は、本校の転機となりました。

宮城県教育委員会は防災教育の充実を図るため、2013年に多賀城高等学校に災害科学科の設立をし、3年間の準備期間後、今年、38名の生徒を迎え災害科学科は開科しました。

災害科学科の生徒は、科学的観点から自然災害、防災について学んでいます。そして、次の四つの項目について全校生徒が取り組んでいます。1. 防災・減災の基礎知識を身につける。2. 自身が学んだことを次世代に伝える。3. 他校との情報とアイデア交換を行う。4. ボランティア活動を通して、地域社会に貢献する。